

2026年9月11日

伊勢崎市長 臂 泰雄 様

日本共産党伊勢崎佐波地区委員会

地区委員長 北島元雄

伊勢崎市議会日本共産党議員団

長谷田公子・須藤博通

ゴミ袋問題に関する緊急要望書

臂市長におかれましては市民生活の安定のために日々ご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

5月連休明けに市指定の燃えるゴミ袋が品薄になってからとられた、指定ゴミ袋以外でも白又は透明のゴミ袋なら収集可能という緊急措置の期限が8月末に切れました。しかし、9月になっても店舗によっては相変わらず「買いに行ったが棚が空だった」という声が市民から寄せられるなど、品薄状態が完全に解消されておられません。

市民の手元には数十枚単位で販売されていた白又は透明のゴミ袋がまだあり、これが使えなくなると袋そのものをゴミにするしかないなど矛盾が生じます。

さらに、一部委託事業者が9月に入ると白又は透明な袋には「指定ゴミ袋ではないので収集できません」というシールを貼り、残していったコースがあるという情報も寄せられており、現場での対応も混乱しているようです。

また、来年1月からは物価高騰対応の補助金が無くなりゴミ袋が値上がりする予定ですが、この情報が広がれば年末には大量に購入する市民が増え、再びの混乱が予想されます。

そこで、下記項目に関して、緊急に要望させていただきます。早急な検討と対応をお願い致します。

記

- 1, 安定的に指定ゴミ袋が購入できる状態になり、また、市民の手元にある白又は透明のゴミ袋が無くなるまでは、経過措置として指定ゴミ袋以外も収集することを、委託事業者及び市民に周知してください。
- 2, 2027年以降もゴミ袋の値上がりを防ぐため、市の補助を続けてください。